

分担研究報告

「CBRNE テロ発生時の包括的行政対応に関する研究」

研究分担者 高橋 礼子

(愛知医科大学 災害医療研究センター 助教)

令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)
「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に向けた包括的な CBRNE テロ対応能力構築のための研究」

分担研究報告書
「CBRNE テロ発生時の包括的行政対応に関する研究」

研究分担者 高橋 礼子 (愛知医科大学 災害医療研究センター 助教)

研究要旨

【目的】

本研究の目的は、これまで発出されてきた CBRNE テロに対する行政文書等の内容をまとめた『CBRNE テロにおける健康危機管理の行政対応の現状』を作成した上で、本文書作成時に抽出された CBRNE テロに対する行政対応の脆弱点や改善すべき点を提言することである。更に、本文書及び課題点を踏まえた机上演習シナリオ(案)を作成し、行政対応における課題を検討する上での基礎資料とすることも、併せて目的とする。

【方法】

1. CBRNE テロ対策関連の通知・事務連絡等の収集
2. 総論的対応・各論的対応に分けて整理し、細部項目について分析
3. 分析結果から、CBRN テロに対する行政対応に関する包括的文書として、『CBRNE テロにおける健康危機管理の行政対応の現状』を作成
4. 包括的文書作成時に抽出された CBRNE テロに対する行政対応の課題点を整理
5. 包括的文書及び抽出課題を踏まえた机上演習シナリオ(案)を作成

【結果】

合計 100 通の文書を収集し、総論・各論対応に分けて整理した(表 3-1~6)。また各文書内の項目・内容を、表 4・表 5 に整理した上で、『CBRNE テロにおける健康危機管理の行政対応の現状』(資料 1)を作成した(収集した文書の内、資料として 31 通、参考資料として 16 通を引用)。また、行政対応の課題点を資料 2 にまとめた上で、机上演習シナリオ(案)として資料 3 を作成した。なお主な課題点(概要)としては以下の通り。

- 関係省庁・自治体等との緊急時連絡体制
- リスクコミュニケーションの方法・担当者の明確化
- CBRNE テロにおける医療・公衆衛生対応人材の確保・育成
- テロ対応医薬品(国家備蓄含む)等の確保・提供方法
- 原因物質による受入可能医療機関及び搬送手段確保の違い
- 核・放射線テロにおける疫学調査・スクリーニングの実施主体

【考察】

本研究では、資料 2 で提示した通り、現行の行政対応の課題点が複数抽出された。特に、複数部局に跨る課題や、関係省庁・自治体等との調整・連携が必要な課題については、対策の検討に時間が掛かる可能性が高いと考えられる。今後は、東京オリパラに向けた事前対応としては、出来るだけ早期に関係者との課題検討を行うと共に、新型コロナウイルス感染症対応での新規行政文書による応用対応についても検討する必要がある。

A 研究目的

行政における CBRNE テロ対策では、これまで多くの行政通知等が発出されており、厚生労働省担当課及び関係省庁等で体制整備が進められてきた。一方で、その行政通知等の整理や、科学的知見との整合性、包括的な運用可能性の検証は行われていないのが現状である。

本研究の目的は、これまで発出されてきた CBRNE テロに対する行政文書等の収集・整理・分析を行い、本邦における CBRNE テロに対する行政対応(特に厚生労働省における対応)についてまとめた『CBRNE テロにおける健康危機管理の行政対応の現状』を作成した上で、本文書作成時に抽出された CBRNE テロに対する行政対応の脆弱点や改善すべき点を提言することである。更に、本文書及び課題点を踏まえた机上演習シナリオ(案)を作成し、行政対応における課題を検討する上での基礎資料とすることも、併せて目的とする。

B 研究方法

1. CBRNE テロ対策関連の通知・事務連絡等の収集

以下の資料集・HP 等より、厚生労働省発出文書を中心に収集する(但し、総論対応及び核・放射線対応は、他省庁発出文書も含めて収集)。

- 「国内の緊急テロ対策関係」ホームページ
<https://www.mhlw.go.jp/kinkyu/j-terr.html>
- 毒物及び劇物取締法に関する通知等 ホームページ
<https://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/doku/tuuti.html>
- 厚生労働省法令等データベースサービス
<https://www.mhlw.go.jp/hourei/>
- 健康危機管理・災害ハンドブック
(厚生労働省危機管理基礎資料集)

2. 総論的対応・各論的対応に分けて整理し、細部項目について分析

- 各種計画・要領・指針・通知等の文書を、総論・各論(化学、生物、核・放射線、爆発)対応に整理
- 各文書の項目・内容について、以下の分類

(包括的文書の目次に相当)のどの部分に該当するかを表 1・表 2 に沿って整理・精査

※内容によっては重複あり

- 基本的事項と脅威評価
- 大規模イベント時のテロ発生予防と事前準備
- 対応時の組織体制
 - 政府全体の体制
 - 厚生労働省の体制
 - 3-2-1 覚知
 - 3-2-2 指揮系統
 - 3-2-3 内部での情報集約
 - 3-2-4 外部への情報発信
- 事案発生時の対応
 - 4-1 検知
 - 4-2 医療対応
 - 4-2-1 対応人材
 - 4-2-2 必要資機材
 - 4-2-3 対応可能と考えられる医療機関
 - 4-2-4 搬送
 - 4-3 疫学調査

3. 分析結果から、CBRNE テロに対する行政対応に関する包括的文書として、『CBRNE テロにおける健康危機管理の行政対応の現状』を作成

上記分類(目次)に沿って、行政文書等の内容をまとめ、現状の行政対応を整理する。また、それぞれの箇所で引用した文書等を、引用した項目も含めて記載する。

4. 包括的文書作成時に抽出された CBRNE テロに対する行政対応の課題点を整理

総論・各論含め、現状の行政対応の中での課題(脆弱点・改善すべき点・矛盾点等)を、上記分類(目次)に沿って抽出・整理する。

5. 包括的文書及び抽出課題を踏まえた机上演習シナリオ(案)を作成

現行の行政対応では対応困難と考えられる課題点を踏まえ、解決策を検討するための基礎資料として机上演習シナリオ(案)を作成する。

C 研究成果

1. CBRNE テロ対策関連の通知・事務連絡等の収集

2. 総論的対応・各論的対応に分けて整理し、細部項目について分析

合計100通の文書を収集し、総論・各論対応に分けて整理した(表3-1~6)。

【総論】

- 厚生労働省以外:10通
- 厚生労働省:25通

【各論】

- 化学:14通
- 生物:34通
- 核・放射線:14通
- 爆発:3通

また各文書内の項目・内容を、前述の分類(目次)に沿って表4・表5に整理した。

※細部の分類が困難な文書については、表3への掲載(一部は包括的文書の参考資料として使用)に留めることとした。

3. 分析結果から、CBRNテロに対する行政対応に関する包括的文書として、『CBRNEテロにおける健康危機管理の行政対応の現状』を作成

4. 包括的文書作成時に抽出されたCBRNEテロに対する行政対応の課題点を整理

上記表4・5を踏まえ、『CBRNEテロにおける健康危機管理の行政対応の現状』(資料1)を作成した。収集した文書の内、資料としては31通、参考資料としては16通を引用した。

※参考資料19個の内、3個は研究班報告書等であるため、表3~5上記には含めず。

また、行政対応の課題点を資料2にまとめた。主な課題点(概要)としては、以下の通りである。

- 関係省庁・自治体等との緊急時連絡体制
- リスクコミュニケーションの方法・担当者の明確化
- CBRNEテロにおける医療・公衆衛生対応人材の確保・育成
- テロ対応医薬品(国家備蓄含む)等の確保・提供方法
- 原因物質による受入可能医療機関及び搬送手段確保の違い
- 核・放射線テロにおける疫学調査・スクリー

ニングの実施主体

5. 包括的文書及び抽出課題を踏まえた机上演習シナリオ(案)を作成

資料1・2を踏まえ、机上演習シナリオ(案)として資料3を作成した。なお、課題によっては原因物質や当該都道府県での被ばく医療体制有無によって対応が異なる可能性があったため、原発立地県・非立地県及び原因物質別にシナリオを作成し、検討する形にした(一部設問については、共通で検討する設問もあり)。

D 考察

本研究では、資料2で提示した通り、現行の行政対応の課題点が複数抽出された。特に、複数部局に跨る課題や、関係省庁・自治体等との調整・連携が必要な課題については、対策の検討に時間が掛かる可能性が高いため、東京オリパラに向けた事前対応としては、出来るだけ早期に関係者との課題検討を行うことが必要である。このため、本研究の元々の計画では、机上演習シナリオを踏まえ、厚生労働省各課及び関係省庁担当者等と共に抽出課題についての具体的解決に向け検討と行う予定であった。しかし、令和2年2月~春頃にかけては、新型コロナウイルス感染症対応が逼迫している状況であり、机上演習の実施が困難であったため、本研究内では机上演習シナリオ(案)の作成に留めることとなった。今後は、厚生労働省各課及び関係省庁担当者等にて本机上演習シナリオ(案)を参考にした検討を進めて頂くと共に、机上演習にて課題点が解決、若しくは他省庁から発出された既存の行政文書等で対応可能な点が明らかになった際には、包括的文書の改訂も併せて行う必要があると考えられる。

また、本研究では新型コロナウイルス感染症に関する行政文書は、令和2年3月時点でも新規文書(改訂含む)が大量に発出されており、従来の感染症対応から変化している部分も多々あるため、本研究内では扱っていない。しかし、特に生物テロ対応においては、今般の新型コロナウイルス感染症対応に係る行政文書が応用可能な部分もあると思われるため、今後さらなる整理・検討が必要と考えられる。

E 結論

本研究では、厚生労働省が発出した CBRNE テロ対策関連の通知・事務連絡等を中心に収集・整理・分析を行い、CBRN テロに対する行政対応に関する包括的文書の作成及び行政対応の課題点の整理を行った上で、机上演習シナリオ(案)を作成した。今後は抽出課題の解決に向け、関係者間での課題検討を行うと共に、新型コロナウイルス感染症対応での新規行政文書による応用対応についても検討する必要がある。

F. 健康危険情報
なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Ayako Takahashi, et al. Estimation for Hospitals Handling the Patient Load after a Nankai Trough Earthquake in the Tokai Region.

Journal of The Aichi Medical University Association. 2019; 47(4): 23-30

2. 学会発表

- 1) 高橋礼子, 2019/5/31, 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会「広域災害における DMAT・消防の連携強化に向けた課題～平成 30 年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練より～」
- 2) 高橋礼子, 2019/10/4, 第 47 回日本救急医学会総会・学術集会「CHEMM-IST(CheMical Hazards Emergency Medical Management-Intelligent Syn-dromes tool)使用マニュアルの作成と最適化」

H. 知的財産権の出願・登録状況
なし